

2026 年 9 月 9 日

各位

会社名 ベステラ株式会社
代表者名 代表取締役社長 本田 豊
(コード番号: 1433 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理部長 池田 真也
(TEL. 03-3630-5555)

特別損失（投資有価証券評価損）の計上並びに第 2 四半期（中間期）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2027 年 1 月期第 2 四半期（中間期）におきまして、特別損失（投資有価証券評価損）を計上するとともに、2026 年 3 月 12 日に公表いたしました 2027 年 1 月期第 2 四半期（中間期）業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので下記のとおりお知らせいたします。また 2027 年 1 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社が保有する投資有価証券（非上場株式）について、取得価額に比べ実質価額が大幅に下落したため、投資有価証券評価損 499 百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 第 2 四半期（中間期）業績予想と実績値の差異

(1) 差異の内容（2026 年 2 月 1 日～2026 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,706	400	416	287	32.48
今回発表実績(B)	5,895	574	609	99	11.18
増減額 (B-A)	189	174	193	△188	
増減率(%)	3.3	43.5	46.4	△65.5	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 1 月期中間期)	5,100	226	215	220	24.78

(2) 差異の理由

当第2四半期（中間期）の連結業績につきましては、選択受注の推進および見積・積算体制の整備による利益率の改善が進み、営業利益および経常利益はいずれも予想を大きく上回りました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、政策保有株式の売却益 313 百万円を特別利益に計上した一方で、前述の投資有価証券評価損 499 百万円を特別損失に計上したことにより、前回予想を下回りました。

3. 通期連結業績予想の修正

(1) 修正の内容（2026 年 2 月 1 日～2027 年 1 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	1,000	1,020	700	79.00
今回修正予想(B)	13,000	1,000	1,020	530	59.81
増減額 (B-A)	—	—	—	△170	
増減率(%)	—	—	—	△24.3	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 1 月期)	11,140	741	763	732	81.35

(2) 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、営業利益、経常利益は中間期時点でともに予想値を大きく上回って推移しておりますが、下半期に貢献を見込む大型工事の進捗をより保守的に見直したことから、前回発表の予想を据え置いております。一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当該投資有価証券評価損等一過性要因の計上を反映し、上記のとおり修正いたしました。

なお、配当予想につきましては、2026 年 3 月 12 日に公表した配当予想に変更はありません。

（注）上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上